

連載 登録医のご紹介

ベルランド総合病院広報誌「ベルフォーラム」

# Bell Forum

地域と職員とともに栄えるチーム

医療最前線

## がん検診

2018  
Autumn  
No. 61

### TOPICS

ベルランド総合病院 脊椎外科  
ベルランド看護助産大学校 高度専門看護学科 開設  
初期臨床研修医による夜間看護実習体験  
倫理研修会『地域におけるアドバンスケアプランニング』開催  
第1回施設・環境・設備安全セミナー 開催

# がん検診

堺市では  
平成30年4月1日から  
平成32年3月31日まで  
自己負担金が  
**無料**  
です

がん検診受診促進強化期間

肺がん	満40歳以上の市民
大腸がん	満40歳以上の市民
胃がん	満50歳以上の 偶数年齢の市民
子宮がん	満20歳以上の 偶数年齢の女性市民
乳がん	満40歳以上の 偶数年齢の女性市民

## 受診方法

### ① 電話で問い合わせ（予約）

受診する検診の実施場所を確認して  
電話予約をしてください。

- 市内指定の協力医療機関（個別検診）

ベルランド総合病院でも  
大腸がん・子宮がん・乳がんの検診を実施しています

- 地域会場・保健センター（集団検診）

### ② 受診する

指定日に実施場所で受診してください。  
医療機関の受付で「堺市の〇〇検診です。」とお申し出ください。

**持ち物** 本人と確認できるもの（健康保険証・運転免許証等）

## 堺市がん検診についての不明点やお問い合わせ

がん検診総合  
相談センター  
(コールセンター) **TEL : 072-230-4616 / FAX : 072-230-4636**  
9 : 00 ~ 20 : 00 / 土日祝も受付します。(12/29 ~ 1/3 を除く)  
**http://www.sakai-kenshin.jp/**

## ベルランド健康塾



中保健センター ご担当者



呼吸器外科  
副部長  
永野晃史

ベルランド総合病院では、定期的にさまざまな疾患を対象に健康塾を開催しており、平成29年10月には呼吸器外科副部長永野晃史が「肺がん、気になりませんか？」と題し、肺がんの症状、原因、治療について講演しました。開催前の15分間、中保健センターのご担当者より市民の方へ健康増進のための各種イベントのご案内がありました。

## 中保健センターとの協働開催による出張健康塾



第1回は「がんについて」  
外科 部長 川崎 誠康が講演しました

平成28年度より、堺市長の諮問に応じ、各区が独自の活動を推進する『中区区民評議会』が発足しました。ベルランド総合病院の院長も、公益活動者の立場から評議員として参画しています。

評議会の大きな柱に「誰もがすこやかで、生き生きと暮らせるまちの実現に必要な、市民の健康づくりに資する施策のあり方について」の諮問事項があり、疾病予防や健康増進のための啓発活動を推進していくことが求められています。

一方で、開催日時に関して配慮してほしいとの要望があり、子育てをされている方や勤めておられる方々も参加しやすい曜日や時間に開催することが決まりました。

上記趣旨のもと、中保健センター主催の健康塾において当院医師を派遣することで行政との協力体制が構築されることは、理想的な姿であると実感しております。

第2回はピンクリボンウィークにて  
「乳がんについて」  
乳腺センター センター長  
阿部 元が講演しました



# 講演会

ベルランド総合病院は、行政と協力し、講師を派遣したり、講演会を開催しています。

# 脊椎外科

ベルランド総合病院

## 患者さんにとって 最適な治療を目指して

脊椎疾患とは、加齢性の変化に伴う頸椎症性脊髄症や神経根症、腰椎すべり症や圧迫骨折、腰痛、また椎間板ヘルニアや靭帯骨化症などを指します。

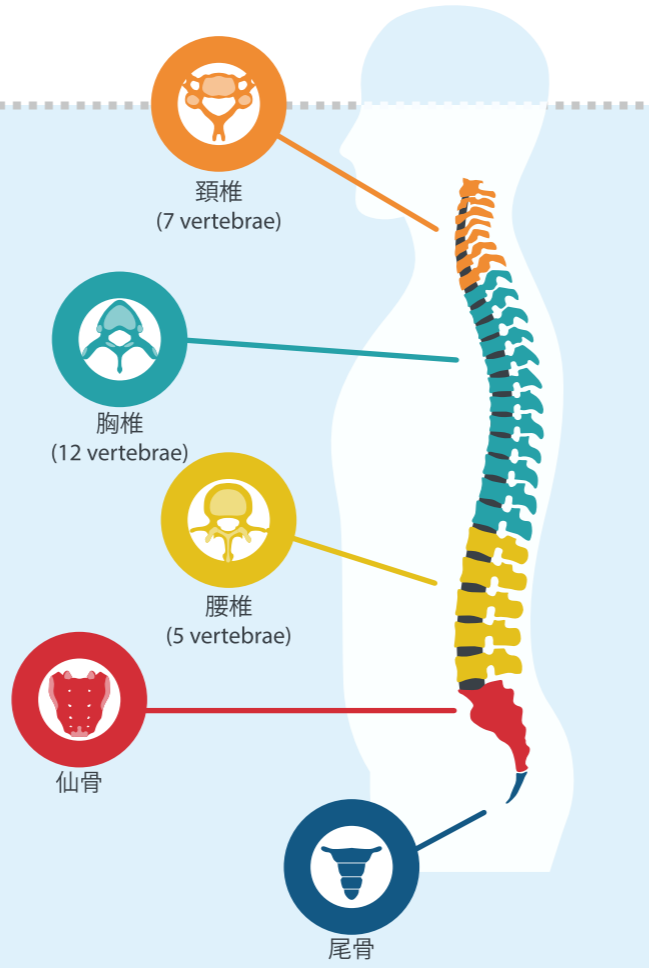
脊椎疾患のなかでも、頸椎が悪くなると、手足のしびれや動かしにくさが出現し、場合により歩行困難を来し、徐々に進行する場合があります。

頸椎 MRI など脊椎、脊髄の状態を調べて、頸椎症性神経根症と診断すれば、頸椎牽引などの保存治療が適応となりますが、頸椎症性脊髄症や靭帯骨化症と診断した時には、頸椎の手術が必要となる場合があります。

また腰椎が悪くなると、足の痛みやしびれが出現し、典型的な症状としては、続けて長く歩けない、長く歩くと足がしびれて痛くなっていくなどの症状が出現し、日常生活動作に障害が出てきます。

こちらにも腰椎 MRI など精査し、腰椎すべり症や腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなどがある場合には、まずは内服治療や硬膜外ブロックなどの保存治療を行います。それでも症状が改善せず、日常生活に支障をきたす時には手術が必要となる場合があります。

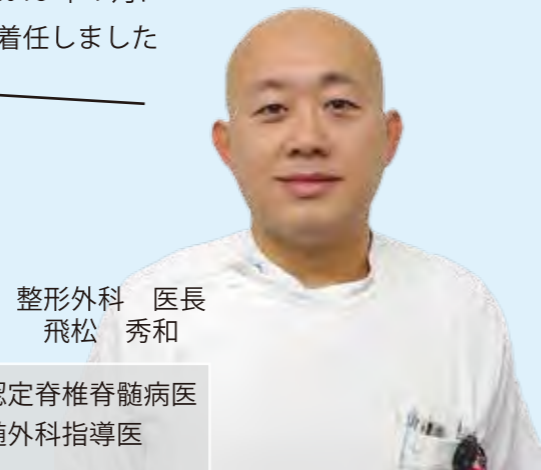
いずれも、患者さんの症状とレントゲンや CT、MRI などの画像所見が一致して、始めて手術を検討しますので、診察が非常に大切です。そのため脊椎外来では、まずは患者さんを詳細に診察した上で診断を行い、今後の治療につき相談させて頂き、治療に当たります。また脊椎外科医として、国内外の学会に積極的に参加、発表を行い、最新の知見も取り入れながら患者さんにとって最適な治療を選んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



腰椎後方椎体間固定術後のレントゲン側面です。腰椎変性すべり症や分離症、変性側弯症などの治療で行われる手術で、脊髄及び腰椎の固定や矯正を行います。



2018年1月に  
着任しました



整形外科 医長  
飛松 秀和

日本整形外科学会：専門医・認定脊髄脊髄病医  
日本脊椎脊髄病学会：脊椎脊髄外科指導医

# 高度専門看護学科 (4年制)



# 開設

## ベルランド看護助産大学校

助産師・看護師国家試験ともに 100% 合格

少子高齢化の進展、医療技術の高度化、病院医療から在宅医療へのシフトなど、医療を取り巻く環境は大きく変化し、看護師の役割も多様化しています。

当校では、臨床現場で求められる実践能力の高い看護師の養成をめざし、2018年4月1日より『専門学校 ベルランド看護助産大学校』と校名を変更し、新しく4年制の高度専門看護学科を開設しました。社会医療法人では全国で初めての4年教育を実施し、質の高い専門職としての助産師・看護師の育成をめざします。

## 4年制（高度専門士称号付与） 高度専門看護学科

高度な看護実践教育 + 将来にわたるキャリア形成

### 取得できる資格 / 称号

- 看護師（国家試験受験資格）
- 高度専門士
- 保健師養成校受験資格
- 助産師養成校受験資格

3年制より32単位、大学より5単位増やし、合計129単位で、より高度な思考に基づく、ヒューマンケアを重視し、主体的に学ぶ学生を育てます。

1年次より段階的に研究思考・手法を学び、対象との関係を築く力、自ら看護専門職としてキャリアを形成する力を育成します。特に専門基礎分野を充実させ、臨床判断力を身につけ、更には海外研修やテーマ別実習など更に深めたい内容について自律的に探究する発展的学習を行い、卒業後もスキルアップできる力を育成します。

### 授業風景



様々な危険因子が潜む療養環境を、安全という視点で観察します。



“対象にとって快適な療養環境を整えよう”をテーマにしたプロジェクト学習の成果発表です。

### 高度専門士とは

文部科学省から大学卒業と同等として与えられる称号で、直接、大学院にも進学できる資格です。

# 登録医のご紹介

みさきファミリークリニック 御前 秀和 先生

内科・小児科

総合診療、家庭医療が  
専門です



星座：ふたご座 血液型 0型  
趣味：読書 語り合い



住所：大阪府堺市中区深井畑山町 254-5  
TEL：072-276-1922

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	★
16:00～18:30	●	●	/	●	●	/

※受付は午前診 8:45/午後診 15:45 からとなります

★：土曜は 9:00～12:30

【休診】木曜、土曜午後、日曜、祝日

## Q. 医師を目指したきっかけは？

手のぬくもりが伝わるような仕事をしたいと思ったこと、医院に勤めていた母親が自分の子供も医師になってほしいと考え、両親が塾に通わせてくれたことです。

## Q. 診察の際に心がけていることは？

患者さんがどうして受診をされたのかという本当の理由(受診動機)を考えつつ、まず患者さんや家族の考えを聞き、診察を行った上で、納得していただけるように、十分な説明を心がけています。

## Q. 地域医療について

田舎には田舎の、都会には都会の地域性があり、それぞれの地域医療があります。堺とその近辺の地域性をよく知り、この地域に適した地域医療を実践していくために、クリニックで診療を行うのみならず、地域に足を運び、つながりを深めていければと思います。

## Q. ベルランド総合病院への希望・要望

私もこれまで病院で勤務してきましたので、紹介される側のご苦労も理解しているつもりです。今後は貴院に患者さんを紹介させていただく機会が多くなるかと思いますが、適応を十分に考慮して、詳細な診療情報提供を行い、その後の逆紹介の受け入れもしっかりと行って、病診連携を深めさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

## Q. 最後に一言お願いいたします

これからの少子・超高齢社会において、限られた社会資源を有効活用し、手をとりあい、健やかなひとづくりのみならず、健やかなまちづくりにも微力ながら貢献できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

医療従事者向け 講演会

## 第22回 ベルランド地域医療懇話会

日時：平成30年10月20日(土) 16:00～17:30  
場所：ベルランド総合病院 地下1階 AIFホール

### 当院診療科のご紹介

- 形成外科 部長 大崎 陽子
- 手外科外傷外科 部長 蒲生 和重
- 中央手術部 部長 山口 綾子
- 脳神経外科 部長/副院長 浦西 龍之介

※懇話会終了後、情報交換会を予定しています。  
※大阪府医師会生涯研修システムに登録しております。

問い合わせ先：ベルランド総合病院 地域医療連携室  
TEL：0120-13-9215 FAX：0120-53-0096

### 新規登録医

登録件数 410件  
H30.7.6現在

大阪市	透析クリニック大正橋 すぎうら きよし 杉浦 清史 先生
大阪狭山市	長尾クリニック ながお のりひさ 長尾 典尚 先生
中区	みさきファミリークリニック みさき ひでかず 御前 秀和 先生
中区	ましも内科眼科クリニック ましも かつゆき 真下 勝行 先生

### 医療従事者向け セミナー

9月8日(土)	泉北地区消化器カンファレンス (ホテルアゴラリージェンシー堺)
9月22日(土)	第7回泉北地区認知症カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
11月9日(金)	第6回南大阪内科カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
11月15日(土)	泉北耳鼻咽喉科セミナー (ベルランド総合病院 AIF ホール)

# Topics

## 2018年5月24日 『堺心不全地域連携懇話会』を開催しました

特別講演：「心不全パンデミックの到来に備えて  
～最新のガイドラインを踏まえた心不全治療～」  
社会医療法人 生長会 心不全センター  
センター長 花谷 彰久 先生

教育講演：「心不全連携パスについて」  
阪和第二泉北病院 副院長 中村 成史 先生



花谷 彰久 先生



中村 成史 先生

## 2018年6月16日 『第18回堺・泉北呼吸器カンファレンス』を開催しました

特別講演：「AMR 対策を考えた肺炎の診断・治療・予防」  
大阪市立大学 大学院医学研究科  
臨床感染制御学 教授 掛屋 弘 先生



掛屋 弘 先生

## 2018年6月28日 『第6回泉北循環器連携フォーラム』を開催しました

一般講演：「VTE(静脈血栓塞栓症)に対する当院の治療戦略」  
ベルランド総合病院 循環器内科 副部長 田村 謙次

特別講演：「身体所見と心エコーから弁膜症を見つけよう！」  
大阪教育大学 教育学部 養護教育講座  
教授 平田 久美子 先生



平田 久美子 先生



## 2018年7月6日 『第2回IBD患者さんへのトータルサポートを考える会』を開催しました

講演Ⅰ：「脂質をコントロールして簡単楽しく食事しましょう」  
大阪労災病院 主任管理栄養士 吉持 奈津子 先生

講演Ⅱ：「知っておきたい潰瘍性大腸炎とくすりの話」  
奈良県立医科大学 内科学第三講座 講師 守屋 圭 先生



吉持 奈津子 先生



守屋 圭 先生

## 2018年7月12日 『第5回南大阪内科カンファレンス』を開催しました

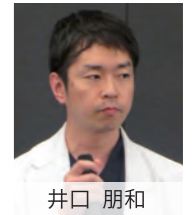
講演Ⅰ：「SGLT2阻害薬の使い方と注意点」  
ベルランド総合病院 内分泌・代謝科 原 知之

講演Ⅱ：「脂質管理における PCSK9 阻害薬の位置づけ」  
ベルランド総合病院 循環器内科 副部長 井口 朋和

特別講演：「最新のエビデンスを踏まえた糖尿病治療戦略」  
大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学 准教授 絵本 正憲 先生



原 知之



井口 朋和

社会医療法人 生長会  
介護老人保健施設

## ベルアモール

リハビリ専門職が自宅を訪問し、  
機能訓練や動作練習を行います。  
安心して在宅生活を送れるようお手伝いいたします。

お問い合わせ先

介護老人保健施設 ベルアモール 072-277-7711 (代)  
リハビリテーション科 酒井

## 訪問リハビリ 始めました!





## 初期臨床研修医による 夜間看護実習体験

2018年5月31日

看護師さんと一緒に一晩夜勤をするという夜間看護実習を経験させていただきました。申し送りを受けた後、いざ看護業務！と意気込んで指示を仰ぐと、夕食の準備をしましょう、と。配膳も看護師さんがしてくれていたんだと、その時初めて知りました。4時間ごとのおむつ交換に、2時間ごとの体位変換、ナースコール対応、食事介助、点滴準備、備品補充など、力仕事も意外に多く、ゆっくり椅子に座る時間なんてほとんどありませんでした。仮眠を2時間いただきましたが、朝方にははたかたで、一晩で腰が痛くなったと話す同期の研修医もいました。

しかし、看護師さんは大変なそぶりを全く見せず、私たちに優しく指導してくださり、いつでも患者さんに親身に寄り添い看護をされていて、その姿はまさしく白衣の天使そのものでした。消灯後にナースコー

ルが鳴っても「また何かあればおっしゃってくださいね」という優しい声かけや、患者さんひとりひとりに対する細かい配慮に驚かされました。たった一晩ですが、普段より患者さんと話す回数も多く、些細な症状や不安まで聴くことができ、看護師さんと患者さんとの距離の近さを感じました。私たちが知らない患者さんの情報を共有することで、患者さんにとってより良い治療を行うことができると考えます。

これからの診療では、看護師さんを見習って患者さんに対して優しさを言葉や行動で表し、またメディカルスタッフとのコミュニケーションを大切にすることを心がけて日々精進していく所存です。

1年次初期臨床研修医 仲尾 有美



先日、兵庫県にある有馬富士にて行われた新人野外研修に参加しました。当日は、バスで現地へ向かい、部署ごとに分かれてバーベキューをしました。たくさんの椎茸やお肉、野菜など、おいしい具材を準備して頂いたのですが、私は椎茸ご飯が一番おいしかったです！

そのあとは班ごとに分かれてのハイキングに参加しました。私は看護師の方と合同班で、初めはなかなか話しかけられずにいたのですが、コースの途中で用意されていたクイズと一緒に解いていくうちに、徐々に仕事やプライベートの話をする事ができました。

1日の研修を通して、植物や動物に囲まれた普段と違った環境で、心と体をリフレッシュできたように感じます。また、今までお話しする機会の少なかった他部署の職員の方と交流を持つことができ、とてもよい経験となりました！

臨床工学室 雨宮 沙弥

新人野外研修で、兵庫県三田市にある有馬富士に行ってきました。当日は天候にも恵まれ、BBQ、ハイキングにはとても良い日和となりました。新鮮な椎茸やお肉を味わい、公園を散策しながらクイズを楽しむことで、心身ともにリフレッシュすることができました。

普段接する機会の少ない他職種の方々とも交流でき、医療チームの一員として実感することができた貴重な1日となりました。またハイキングの最後で集合写真を撮る前に、四つ葉のクローバーを見つけることができ、モチベーションが上がりました。この幸運の象徴を胸ポケットに入れ、頑張って職務に励んでいます。

また、諸先輩方には新人研修に関してたくさんの準備、ご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

薬剤部 眞野 裕



『地域における  
アドバンス・ケア・プランニング』



「アドバンスケアプランニングとは」

今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者（ケアマネージャー等も含む）が、あらかじめ人生の最後の迎え方などを話し合うこと

7月5日（木）にベルランド総合病院のA I Fホールに於いて、国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部地域連携室長の西川 満則先生をお招きし「地域におけるアドバンス・ケア・プランニング＝エンド・オブ・ライフディスカッション＝」という講演名で倫理研修会を開催し、参加人数は総勢181名（院内128名、院外53名）と、たくさんの方に来て頂き皆さんの関心の高さを実感しました。

アドバンス・ケア・プランニング（以下ACP）とは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者（ケアマネージャー等も含む）が、あらかじめ人生の最後の迎え方などを話し合うことを言います。その話し合いには、患者が望めば家族や友人も加わることができます。また、症状の変化や気持ちの変化にあわせられるように、定期的に見直されます。

ACPの話し合いで、大事にしているポイントとして以下の6項目があります。

講演の最後に、「地域におけるACP」のために必要なことという内容で、ACPについて市民への普及啓発をしていかなければいけないと言われていました。また、人生の最後について話し合う（エンド・オブ・ライフディスカッション）ことを、「縁起でもない」から「当たりまえ」に、そして患者さん自身も元気なときにこそ、「他人事」ではなく「自分事」のこととして「もしも・・・」の時はどうしたいのか考えておいて頂きたいとのことでした。私自身も、また両親とも「もしも・・・」について話し合う機会を作らなければいけないと感じた研修となりました。

クオリティ管理センター 部長 楠本 茂雅

ACPの話し合いで大事なこと

- 1 患者本人の気がかりや意向 **たとえば**：娘には迷惑をかけたくない
- 2 患者の価値観や目標 **たとえば**：病院ではなく自宅で最期を迎えたい
- 3 病状や予後の理解 **たとえば**：痛みが強くなれば痛みを抑えて欲しい
- 4 治療や療養に関する意向や選好 **たとえば**：延命治療は受けたくない
- 5 患者の意思が尊重 **たとえば**：管につながれて生きるのは嫌だと、母は言っていました
- 6 遺族の心の傷が小さくなる **たとえば**：家に連れて帰るべきか悩みましたが母の希望を叶えることができ良かったです



国立長寿医療研究センター  
緩和ケア診療部 地域医療連携室長  
西川 満則 先生

2018年度 第1回

施設・環境・設備安全セミナーが開催されました



事例をもとに  
対策を協議

旧病棟を見て  
リスク抽出

新病棟  
見学

日本医療機能評価機構の患者安全推進協議会（Patient Safety Promotion：PSP）の活動のひとつとして、施設・環境・設備安全部会があり、主に医療者や患者を取り巻く「環境」や、病室の広さや動線などの「施設」、エレベーターや無停電装置などの「設備」に関する医療安全を研究し知識を共有する取り組みをしています。今回、その施設・環境・設備安全部会のセミナーが当院（ベルランド総合病院）で開催されました。

今回のセミナーでは、現在の管理棟（旧東B病棟）にあるシミュレーターセンターを見学し、旧病院の環境では医療スタッフや患者にとって、どのような危険な箇所があるのかを見つけ出します。次に、どのような安全対策を立てられそうかグループ・ワークで話し合い、最後に、旧病院で危険だと感じた箇所が新病院（現病院）でどのように改善され安全になっているかを評価します。この様なセミナーは患者安全推進協議会でも初めての取り組みということもあり、参加者は北は北海道から南は長崎県まで全国から50名の参加があり、また清水建設などの建築会社も医療スタッフとグループワークで意見を出し合い、たいへん有意義で参加者の満足度も高いセミナーにすることができました。

また当院の看護部からアドバイザーとして多数の看護師が参加し、旧病院と新病院の違いについて丁寧に説明していたことに、この部会長である工学院大学の寛教授からも感謝のお言葉を頂きました。多くの参加者からも、新病院の病室のデザインや機能、清洗室に惜しみなくステンレスを使用している環境について高い評価をしてもらえました。しかし、それを正しく使用してこそ、安全な医療を提供できることから慢心せず、医療安全・感染防止にも取り組んでいきたいと思っています。

クオリティ管理センター 部長 楠本 茂雅



工学院大学 建築学部建築デザイン学科  
教授 寛 淳夫 先生